

特殊詐欺（二セ電話詐欺）の認知状況（令和3年11月末）

ニセの電話・メール・はがきに要注意！

1 県内の特殊詐欺の認知状況（令和3年11月末）

- 被害認知件数は**86件**（前年同期比+55件）
- 被害総額は**約2億5,816万円**（前年同期比+約1億5,360万円）

2 令和3年11月の認知状況

- 被害認知件数は**9件**（前年同月比+5件）
- 被害額は**約2,486万円**（前年同月比+約2,159万円）
- 手口は
 - ・ 架空料金請求詐欺 ～8件
 - ・ ギャンブル詐欺 ～1件

3 県内の特殊詐欺の傾向（令和3年11月中）

11月中は、架空料金請求詐欺の被害が多発しました。

その手口は、

- 全国民事訴訟相談センターを名乗って、「**契約不履行がある**」と**ニセのはがき**を送りつけるもの
- NTTファイナンスセンターを名乗って「**未納料金がある**」と**ニセのメール**を送りつけるもの
- **パソコンがウイルス感染した**かのように**ニセの警告画面**を表示させるものなどと様々ですが、共通していることは、最終的に犯人は電話等でお金を請求してくることです。

電話等でお金のお話が出たら要注意！！電話を切って、家族や警察に相談しましょう！！

※来年から、本県内の広報においては「特殊詐欺」を「ニセ電話詐欺」と呼称します。

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和3年11月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	-	1	1
20～29	2	2	4
30～39	-	2	2
40～49	4	2	6
50～59	7	11	18
60～64	8	8	16
65～69	8	20	28
70～79	1	6	7
80～89	2	2	4
90～	-	-	-
合計	32	54	86
うち65歳以上の高齢者	11	28	39

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和3年11月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	49
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	4
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	1
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	30
キャッシュカード手交型	2
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	-
合計	86